

2007年5月28日

学生の皆様へ

明治大学学生厚生課

### 休講中の麻疹（はしか）の感染に注意（3）

現在、学内でのはしかの感染拡大を防ぐために休講措置が取られていますが、はしかの流行は全国に広がりを見せています。

したがって、休講期間中は下記に留意し、感染に十分注意してください。

#### 記

- 1 過去にはしかにかかったことがなく、予防接種を受けたことがない方は感染する確率が高いので、不要不急の外出を避けてください。
- 2 はしかに感染すると、約10日前後の潜伏期間を経て発症します。  
始めはカゼとよく似た症状のため、軽く考えがちですが、この頃より、はしかウイルスが鼻やのどから空気中に出て、他の人に感染します。  
二次感染を防ぐためにも、発熱・せき・鼻水の症状が出たら、人が多く集まる場所は避けてください。
- 3 休講期間中にはしかと診断された方は、学生厚生課（03-3296-4212）に報告するとともに、医師より指示された外出禁止期間を厳守してください。
- 4 あらたに、百日ぜきの集団感染の報道がなされています。  
百日ぜきとは、百日ぜき菌で起きる学校伝染病で、せきやくしゃみによる飛沫で感染し、5～10日の潜伏期を経て連続して激しくせき込むようになり、治るまで2～3ヶ月かかります。母子手帳などで、百日ぜきの感染歴や予防接種歴も確認しておきましょう。

以上